

What Should Young Women THINK and DO?

世界の女性リーダーとの対話

本企画は、9月に開催される外務省主催の「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム World Assembly for Women in Tokyo: WAW! Tokyo 2014」に関連する企画です。同シンポジウムに出席するために来日する世界的に著名な女性リーダー3名を本学に招き、聴衆の学生との対話を通じ、学生がリーダーたちから直接学ぶことができる機会を創出します。女性初のバングラデシュ国会議長、平和活動によるノーベル賞受賞者、ヒラリー前国務長官の女性問題外交を支えた前国際女性問題担当大使と、各界で輝く著名な女性リーダーから、国際社会に生きる女性への力強いメッセージを聴くことのできる貴重な機会です。

<パネリスト>



シリン・シャルミン・チョードリー氏
(バングラデシュ)

バングラデシュ史上初の女性国会議長就任かつ最年少国会議長。法学博士、弁護士資格を有する。専門は憲法と人権法。



タワックル・カルマン氏
(イエメン)

活動家・政治家。イエメンで女性の権利擁護を求めた民主化運動を率いたことが讃えられ、2011年ノーベル平和賞受賞。



メラニー・バービアー氏
(アメリカ)

国際女性問題担当として初の米国大使、ヒラリー・クリントン元大統領夫人首席補佐官。現在、ジョージタウン大学平和女性安全研究所所長。

日時：2014年9月14日(日) 10:00~12:00 (開場9:15)
10:00 - 11:30 パネリストとのディスカッション
11:30 - 12:00 交流会

会場：上智大学四谷キャンパス 2号館 17階国際会議場

言語：英語(同時通訳あり)

対象：大学生、大学院生、高校生、上智大学教職員

定員：150名(先着順)

申込：事前申込制 eメールで所属、氏名、本学学生は学生番号を記載し、以下のアドレスに
9月11日(木)までに送信してください。

dirosln@sophia.ac.jp

主催：上智大学 後援：学校法人上智学院 男女共同参画推進室

問い合わせ先：上智大学 グローバル教育推進室 03-3238-3521